

令和5年1月20日

山梨県リニア未来創造局

リニア未来創造・推進課 課長 鎌田 秀一

電話番号 055-223-1664(内線 1304)

報道関係者各位

第3期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業

【アイリス株式会社】

山梨県立中央病院において、インフルエンザ診断支援 AI システム nodoca®の大規模病院での有用性を検証する実証実験を実施しています。

山梨県（知事：長崎幸太郎）が実施している、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に伴走し、山梨県全域を対象にした実証実験を全面的にサポートする「第3期TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」において、採択された7事業者のうちの1つである「アイリス株式会社」は、山梨県立中央病院において、令和4年12月からインフルエンザ診断支援AIシステムnodoca（販売名nodoca（ノドカ））の大規模病院での有用性を検証する実証実験を実施しています。

1 事業者

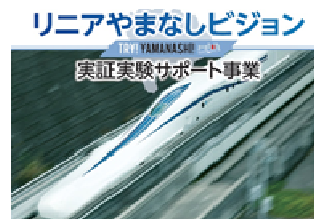
アイリス株式会社

[\(https://www.aillis.jp/\)](https://www.aillis.jp/)

本社：東京都千代田区

代表：沖山翔

概要：深層学習（人工知能）の技術を活用し、医師のもつ匠の技をデジタル化する AI 医療機器を開発するスタートアップ



2 実証実験の内容

令和4年12月より保険適用および販売開始したインフルエンザ感染症の診断に用いることができる AI 搭載システム nodoca を山梨県立中央病院にて運用し、大規模病院、特に救急外来での有用性を検証する。

詳細は、アイリス株式会社発表の別添リリース資料をご参照ください。

■「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」の最新情報は、やまなし未来創造インフォメーションサイトをご確認ください。

https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/support.html

未来創造インフォ

Click



【報道関係者からのお問い合わせ先】

山梨県 リニア未来創造局 リニア未来創造・推進課 担当：齊藤

電話：055-223-1363（内線 1324） メール：saitou-zfm@pref.yamanashi.lg.jp

アイリス株式会社 担当：田中・塩田

電話：03-5218-2374 メール：info@aillis.jp

山梨県の社会実証プロジェクト「第3期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」
アイリス株式会社、山梨県の支援を受け、山梨県立中央病院において
nodoca 実証実験を開始

～インフルエンザ診断支援 AI システム nodoca を大規模病院へ導入～

アイリス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:沖山翔、以下「アイリス」)は、山梨県の「第3期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」に採択され、2022年12月より実証実験を開始いたしました。「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」は、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に対し、山梨県全域において実施する社会実証プロジェクトを全面的にサポートする山梨県の事業です。

今回の実証実験では、2022年12月より保険適用および販売開始したインフルエンザ感染症の診断に用いることができるAI搭載の咽喉内視鏡システム nodoca®(販売名「nodoca(ノドカ)」)を、全国でも有数の検査施設の充実度を誇る山梨県立中央病院にて運用し、大規模病院、とくに救急外来での有用性を検証します。



■TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業とは

「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」は、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に対し、全国トップレベルとなる補助率3/4、最大750万円の経費を支援するとともに、山梨県全域を実証実験のフィールドとして、産学官金連携のオール山梨体制で伴走支援する令和3年度から始まった山梨県主体の社会実証プロジェクトです。

山梨県ではリニア開業を機に、国内外の皆様の目的地として選ばれるため、令和2年3月に策定した「リニアやまなしビジョン」で目指す姿として、テストベッドを突破口に最先端技術で未来を創るオープンプラットフォーム山梨を掲げています。



▼公式サイト

https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/support.html

■nodoca について

nodoca は、咽喉(のど)の画像と問診情報等を AI 解析し、インフルエンザに特徴的な所見等を検出することでインフルエンザの診断の補助ができる AI 搭載医療機器です。日本で初めて(※1)「新医療機器(※2)」として承認を取得した AI 搭載医療機器となります。また、nodoca を用いたインフルエンザ診断は、2022 年 12 月 1 日より保険適用されます。AI 医療機器を用いた診断への新機能・新技術(C2 区分)での保険適用も、日本で初めて(※3)の事例です。nodoca を用いたインフルエンザ検査の保険点数(診療報酬)は、既存検査法と同等の 305 点(3,050 円)となります。

nodoca の AI アルゴリズムは、のべ 100 以上の医療機関、10,000 人以上の患者の皆様のご協力のもと収集された、50 万枚以上の咽喉画像データベースを元に開発されています(※4)。また、AI 解析に適した咽喉画像を撮影するための専用カメラを自社で独自に設計・開発しており、口腔内・咽喉をクリアに撮影します。

インフルエンザ濾胞(ろほう)がインフルエンザの診断に有用であることは日本人医師である宮本昭彦医師の発見と報告(※5)により知られていましたが、インフルエンザ濾胞を視診のみで高精度に見分けるには熟練の医師による判断が必要とされていました。アイリスは、熟練医の視診を AI で再現すべく、nodoca を開発いたしました。

■アイリス株式会社について

アイリスは、「みんなで共創できる、ひらかれた医療をつくる。」をミッションに掲げ、深層学習(人工知能)の技術を活用し、医師のもつ匠の技をデジタル化する AI 医療機器を開発しています。現役医師でもある創業者沖山翔(東京大学医学部卒、アイリス代表取締役)をはじめ 5 名の医師を含む 8 名の医療従事者、厚生労働省・経済産業省出身者、AI 医療領域に特化したデータサイエンティスト、大手医療機器メーカー出身者など多数のプロフェッショナルが揃い、医療現場、技術(ハードウェア・ソフトウェア・AI)、法規制を深く理解したうえで AI 医療機器をスピーディに開発する体制を構築しています。

2019 年には経済産業省推進の「J-Startup」に選出され、2022 年には Forbes Japan より「世界&日本のインパクト企業 100」に、東洋経済より「すごいベンチャー100」に選ばれるなど高い評価を受けており、2022 年までに総額約 40 億円の資金を調達し、これまでの開発を進めてきています。

【会社概要】

会社名:アイリス株式会社

所在地:〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1 丁目 10 番 1 号 有楽町ビル 11 階

代表取締役:沖山翔

設立:2017 年 11 月

URL:<https://aillis.jp/>

▼nodoca 製品サイト

<https://nodoca.aillis.jp/>

■お問い合わせ先

・メディア関係者/事業一般に関するお問い合わせ先

アイリス株式会社 広報 田中・塩田

e-mail: info@aillis.jp

・医療関係者のお問い合わせ先

<https://nodoca.aillis.jp/contact>

※注釈

(1)独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)が公開する令和3年度～平成23年度の新医療機器の一覧(<https://www.pmda.go.jp/review-services/drug-reviews/review-information/devices/0018.html>)及び令和4年度の承認医療機器を当社が確認する限りの情報(2022年5月9日時点)

(2)医療機器の製造販売承認時の区分の一つ。「医療機器の製造販売承認申請について」(平成26年11月20日薬食発1120第5号)第1・2(2)に定義される。

(3)厚生労働省が公開する令和4年度～平成25年度の中央社会保険医療協議会総会議事録を当社が確認する限りの情報(2022年9月14日時点)

(4)Okiyama S, Fukuda M, Sode M, Takahashi W, Ikeda M, Kato H, Tsugawa Y, Iwagami M. Examining the use of an artificial intelligence model to diagnose influenza: development and validation study. Journal of Medical Internet Research. 2022;24(12):e38751.

(5)宮本昭彦, 渡辺重行. 咽頭の診察所見(インフルエンザ濾胞)の意味と価値の考察. 日大医誌. 2013; 72 巻 1 号: 11-18.